

アカモク資源に関する研究

研究部

背景、目的

アカモクは、ワカメの「めかぶ」のような食感がありフコイダンなど機能性物質が含まれることに着眼し、加工品の生産・販売を推進しました。その結果、県内多数の地区でアカモクが採取されるようになりました。

そこで、アカモク資源を安定的に持続して利用できるように、アカモクの生態や適正な採取方法、増殖方法の研究に取り組みました。

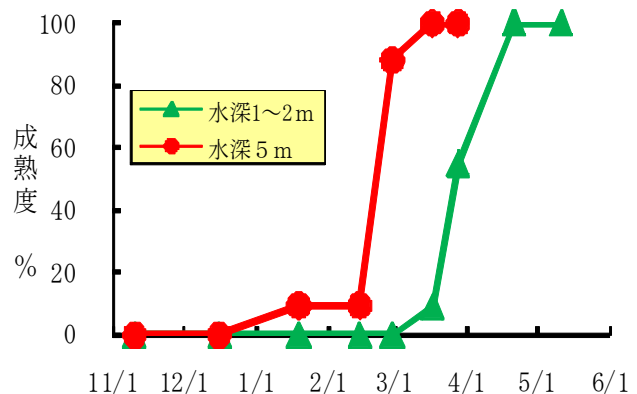


成果の概要

(1) アカモクの生態と適正採取方法

アカモクは成熟して粘りが出ないと商品になりません。アカモクの成熟は深場では早く、浅場では遅いことから、この性質をうまく利用すれば約3カ月間採取できることがわかりました。

また、葉の先から根元までの成熟状況を調べた結果、アカモク資源を持続して利用するには、基部から葉長の6割を残し、先端部の4割を採取すれば良いことがわかりました。



水深別アカモク成熟度の推移

(2) アカモクの増殖方法

アカモクに適した増殖手法を検討した結果、母藻投入（スポアバッグ）が増殖手法として有効であることがわかりました。



海中のアカモク



母藻投入試験